



バイオ炭事業

植物残渣や有機廃棄物などの所謂バイオマスを経過炭素下で熱分解して得られる炭素素材(バイオ炭)のメキシコ・中米における事業化

背景・課題

世界的な気候変動が問題になっており、矢崎グループとしても、脱炭素に取り組んでいる。
メキシコ・中米では土壌劣化が農業の持続可能性を脅かしている。
又、未活用バイオマスが大量に存在し、廃棄・焼却による環境負荷が問題

課題への解決・特徴

- 1 バイオ炭の製造過程では、バイオマス由来の炭素が大気中に排出される代わりに、固形の炭素(バイオ炭)として固定化され、気候変動問題の解決に貢献
- 2 土壌改良剤でもあるバイオ炭を活用し、土壌の保水性や通気性を改善。又、バイオ炭に土壌微生物群を定着させた高機能バイオ炭(宙炭)の製造技術を有するTOWING社とも提携
- 3 社会問題にもなっている地域の未活用バイオマスを高機能資源へと転換
廃棄削減と付加価値創出を両立し、地域経済と環境の好循環に貢献

